



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 昭栄薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3537 URL <http://www.shoei-yakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 佐一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 成瀬 幸次 (TEL) 06-6262-2707
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から決算説明動画を配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,911	△12.6	53	△37.5	135	△17.6	90	△41.8
2020年3月期第2四半期	9,057	△12.3	86	△42.1	164	△29.9	155	△2.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △308百万円(-%) 2020年3月期第2四半期 △216百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第2四半期	円 銭 26.05	円 銭 —
2020年3月期第2四半期	43.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第2四半期	百万円 14,082	百万円 7,764	% 55.1
2020年3月期	14,999	8,135	54.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,764百万円 2020年3月期 8,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 18.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,141	△9.0	113	△11.8	253	△3.3	176	△31.1	50.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	3,579,105株	2020年3月期	3,579,105株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	108,129株	2020年3月期	100,929株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	3,474,062株	2020年3月期2Q	3,578,476株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催せず、当社ホームページにて決算説明動画を配信する予定としております。当日に使用する決算補足説明資料については、当社ホームページ(<http://www.shoei-yakuhin.co.jp/ir/>)に掲載いたします。なお、決算説明動画の配信日については、2020年11月下旬頃を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、社会・経済活動が大きく制限されることになり、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は、政府による経済対策もあり、国内の経済活動に回復の兆しがみられるものの、感染再拡大の懸念や米中貿易摩擦問題、米国大統領選挙の動向など、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの事業とかかわりの深い界面活性剤業界におきましても、生産・販売活動とも大きく落ち込みました。

こうした中、当社グループにおいても在宅勤務やオンライン商談等を活用し、化学品事業におけるオレオケミカルを中心とした既存得意先への拡販・拡充、新興国化学品の販売拡大、除菌関連の原材料及び商品販売強化に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症からの景気減速による得意先の生産・販売調整等の影響を受け、受注が減少することとなりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は7,911,956千円（前年同四半期比12.6%減）、営業利益は53,912千円（前年同四半期比37.5%減）、経常利益は135,806千円（前年同四半期比17.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は90,485千円（前年同四半期比41.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業損益（営業利益又は営業損失）をベースとしております。また、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用81,874千円（前年同四半期比1.2%減）があります。

① 化学品事業

化学品事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部除菌関連（消毒液やハンドソープ等）の原材料需要は伸びたものの、取扱数量の多い自動車関連や繊維油剤関連等の主要得意先からの受注（原材料販売）が大きく落ち込みました。また、販売価格についてもオレオケミカルを中心とした原材料価格（天然油脂相場価格）が低水準で推移したことで低迷しました。

この結果、化学品事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は6,988,484千円（前年同四半期比14.7%減）、セグメント利益は74,936千円（前年同四半期比43.4%減）となりました。

② 日用品事業

日用品事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、個人消費の行動に大きな変化が生じ、巣ごもり需要が追い風となって、当事業が取扱う除菌関連商品や生活日用品（洗濯槽クリーナーや冷蔵庫脱臭剤等）の需要が好調に推移しました。

この結果、日用品事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は459,088千円（前年同四半期比19.1%増）、セグメント利益は72,338千円（前年同四半期比49.4%増）となりました。

③ 土木建設資材事業

土木建設資材事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であったものの、当事業の取扱商品とかかわりの深い地盤改良工事、コンクリート補修補強工事は依然少なく、工事に使用される材料・添加剤等の販売は低調となりました。また、環境関連薬剤の販売についても回復基調ではありますが、低調な状況が続きました。

この結果、土木建設資材事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は464,383千円（前年同四半期比2.2%減）、セグメント損失は11,487千円（前年同四半期は11,563千円のセグメント損失）となりました。

[2021年3月期 第2四半期 セグメント別連結業績]

(単位：千円、%)

セグメント区分	セグメント別売上高		セグメント損益（営業損益）	
	実績	百分比	実績	利益率
化学品事業	6,988,484	88.3	74,936	1.1
日用品事業	459,088	5.8	72,338	15.8
土木建設資材事業	464,383	5.9	△11,487	—
全社費用	—	—	△81,874	—
セグメント合計	7,911,956	100.0	53,912	0.7

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は14,082,844千円（前連結会計年度末比917,066千円の減少）となりました。主な要因は、現金及び預金が238,296千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が548,353千円、保有有価証券の時価変動等により投資有価証券が536,775千円それぞれ減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は6,318,231千円（前連結会計年度末比546,242千円の減少）となりました。主な要因は、短期借入金が234,214千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が324,572千円、1年内返済予定の長期借入金が300,000千円、繰延税金負債が167,893千円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は7,764,613千円（前連結会計年度末比370,824千円の減少）となりました。主な要因は、利益剰余金が27,878千円増加した一方で、保有有価証券の時価変動等によりその他有価証券評価差額金が378,842千円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ248,096千円増加し、980,612千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は332,680千円（前年同四半期は513,054千円の使用）となりました。主な要因は、仕入債務の減少額325,797千円があった一方で、売上債権の減少額541,077千円、税金等調整前四半期純利益135,806千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は42,296千円（前年同四半期は85,485千円の獲得）となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入46,428千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は127,019千円（前年同四半期は343,807千円の使用）となりました。要因は、短期借入金の純増額235,587千円があった一方で、長期借入金の返済による支出300,000千円、配当金の支払額62,607千円があったことによるものです。

資本の財源及び資金の流動性に係る情報は、次のとおりであります。

(主要な資金需要及び財源)

当社グループの主要な資金需要は、商品、販売費及び一般管理費、並びにシステム投資等の投資であります。

また今後、当社グループの収益の源泉として、事業間及び国内外間のシナジーを迫り売上高の増加を目指してまいります。

(資金の流動性)

突発的な資金需要に対して、迅速かつ確実に資金を調達できるよう、20億円の当座借越枠を取得しており、流動性リスクに備えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、本日公表しました「2021年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	986,615	1,224,912
受取手形及び売掛金	5,573,662	5,025,308
商品	422,902	437,778
その他	149,930	98,782
貸倒引当金	△193	△175
流動資産合計	7,132,918	6,786,606
固定資産		
有形固定資産	207,368	199,948
無形固定資産	16,979	13,146
投資その他の資産		
投資有価証券	7,067,627	6,530,852
敷金及び保証金	332,352	334,396
その他	248,320	223,548
貸倒引当金	△5,654	△5,654
投資その他の資産合計	7,642,645	7,083,142
固定資産合計	7,866,992	7,296,237
資産合計	14,999,910	14,082,844

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,842,500	3,517,927
短期借入金	413,302	647,517
1年内返済予定の長期借入金	300,000	—
未払法人税等	40,160	40,757
賞与引当金	68,188	70,770
その他	71,705	76,046
流動負債合計	4,735,857	4,353,019
固定負債		
退職給付に係る負債	51,912	56,350
長期未払金	161,104	161,104
繰延税金負債	1,884,408	1,716,515
その他	31,190	31,241
固定負債合計	2,128,615	1,965,211
負債合計	6,864,473	6,318,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,169	248,169
資本剰余金	173,568	173,568
利益剰余金	3,265,465	3,293,343
自己株式	△114,909	△114,909
株主資本合計	3,572,292	3,600,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,432,390	4,053,547
為替換算調整勘定	130,754	110,894
その他の包括利益累計額合計	4,563,144	4,164,442
純資産合計	8,135,437	7,764,613
負債純資産合計	14,999,910	14,082,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	9,057,549	7,911,956
売上原価	8,285,785	7,206,936
売上総利益	771,764	705,019
販売費及び一般管理費	685,480	651,106
営業利益	86,283	53,912
営業外収益		
受取利息	3,708	3,472
受取配当金	70,736	70,212
為替差益	—	1,215
不動産賃貸料	11,722	11,722
その他	4,197	1,943
営業外収益合計	90,363	88,566
営業外費用		
支払利息	3,797	2,273
為替差損	3,007	—
不動産賃貸原価	4,137	4,192
その他	983	206
営業外費用合計	11,926	6,672
経常利益	164,721	135,806
特別利益		
投資有価証券売却益	57,619	—
特別利益合計	57,619	—
税金等調整前四半期純利益	222,340	135,806
法人税、住民税及び事業税	73,654	46,331
法人税等調整額	△6,676	△1,010
法人税等合計	66,977	45,321
四半期純利益	155,362	90,485
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,362	90,485

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	155,362	90,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△379,993	△378,842
為替換算調整勘定	8,448	△19,859
その他の包括利益合計	△371,544	△398,702
四半期包括利益	△216,181	△308,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△216,181	△308,217

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	222,340	135,806
減価償却費	11,785	12,063
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	△17
受取利息及び受取配当金	△74,444	△73,684
支払利息	3,797	2,273
為替差損益 (△は益)	984	△1,763
投資有価証券売却損益 (△は益)	△57,619	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,797	2,582
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,864	4,437
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△5,034
売上債権の増減額 (△は増加)	685,986	541,077
たな卸資産の増減額 (△は増加)	225	△16,977
長期前払費用の増減額 (△は増加)	11,045	22,728
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,307,325	△325,797
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7,023	17,013
その他	△9,366	△6,615
小計	△510,977	308,091
利息及び配当金の受取額	73,096	72,524
利息の支払額	△5,243	△2,274
法人税等の支払額	△69,930	△45,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	△513,054	332,680
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,061	△924
投資有価証券の取得による支出	△8,241	△8,950
投資有価証券の売却による収入	122,750	46,428
保険積立金の積立による支出	△8,124	△7,104
保険積立金の解約による収入	6,023	12,818
その他	138	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	85,485	42,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,605	235,587
長期借入金の返済による支出	△300,000	△300,000
配当金の支払額	△64,412	△62,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343,807	△127,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,419	139
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△769,956	248,096
現金及び現金同等物の期首残高	1,629,485	732,515
現金及び現金同等物の四半期末残高	859,528	980,612

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,197,262	385,452	474,834	9,057,549	—	9,057,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,890	—	—	2,890	△2,890	—
計	8,200,153	385,452	474,834	9,060,440	△2,890	9,057,549
セグメント利益又は損失(△)	132,335	48,409	△11,563	169,181	△82,897	86,283

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△82,897千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△82,897千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,988,484	459,088	464,383	7,911,956	—	7,911,956
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,062	—	—	3,062	△3,062	—
計	6,991,547	459,088	464,383	7,915,018	△3,062	7,911,956
セグメント利益又は損失(△)	74,936	72,338	△11,487	135,787	△81,874	53,912

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△81,874千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△81,874千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。